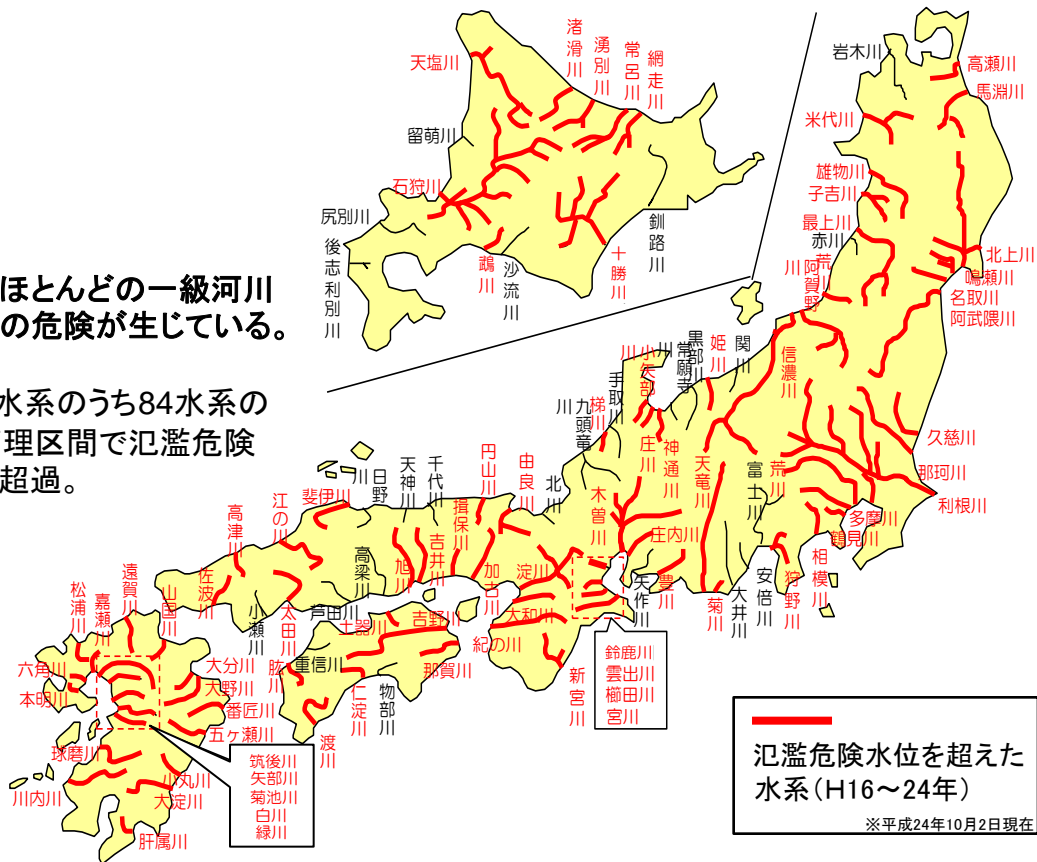


治水事業の効果

近年もほとんどの一級河川で氾濫の危険が生じている。

※109水系のうち84水系の直轄管理区間で氾濫危険水位を超過。



【H23.7新潟・福島豪雨】これまでの河川整備が効果を発揮した事例

(信濃川水系五十嵐川、刈谷田川)

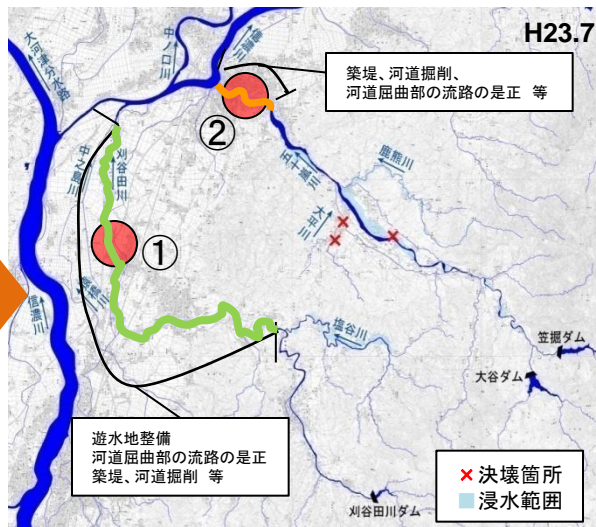
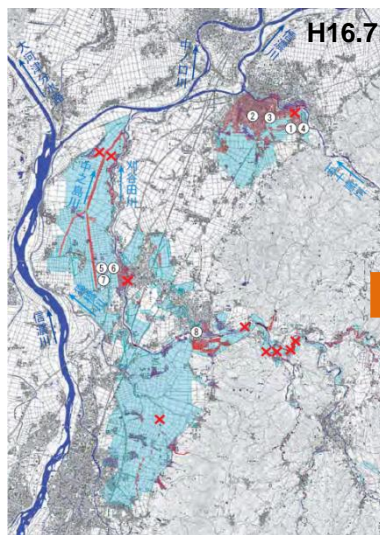
- 平成16年7月洪水後に再度災害防止を目的に、直接被害のあった信濃川水系五十嵐川・刈谷田川において、築堤、河道掘削、遊水地の整備等を実施。
- 平成23年7月洪水では、平成16年7月洪水(累加雨量647mm)の1.6倍の雨量(累加雨量1006mm)を記録したにも関わらず浸水被害は激減。

新潟・福島豪雨(H16.7)

記録的な集中豪雨となり、五十嵐川、刈谷田川等において堤防が決壊し広い範囲で浸水被害が発生。



五十嵐川の堤防決壊による浸水状況(新潟県三条市)



①河道屈曲部の流路の是正

刈谷田川 中之島大橋

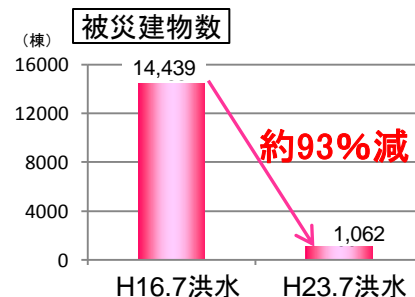
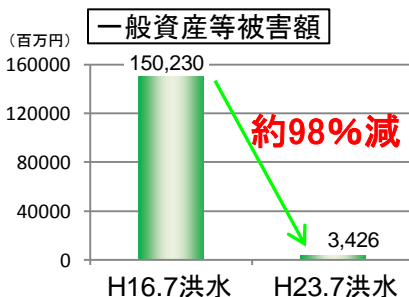
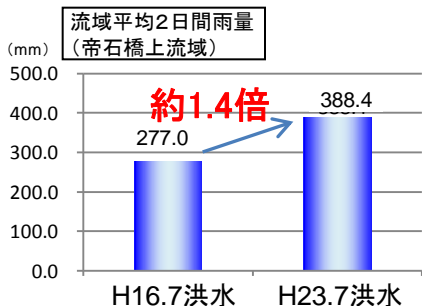


河道付替・築堤



②築堤・河道掘削

五十嵐川 常磐橋



【H23.9台風15号】これまでの河川整備が効果を発揮した事例(庄内川)

- 平成12年9月の東海豪雨を契機に、平成12年度から平成16年度に築堤、堤防の強化、河道掘削等を実施。
- 今回の台風15号では、場所によっては平成12年東海豪雨時よりも多くの雨量を記録したが浸水被害は激減。



東海豪雨(H12.9)

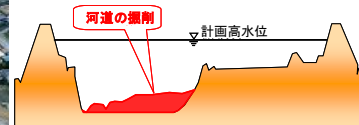
台風14号による秋雨前線の影響で、庄内川での越水や新川での堤防決壊等により、甚大な浸水被害が発生。



河道掘削：名古屋市中川区



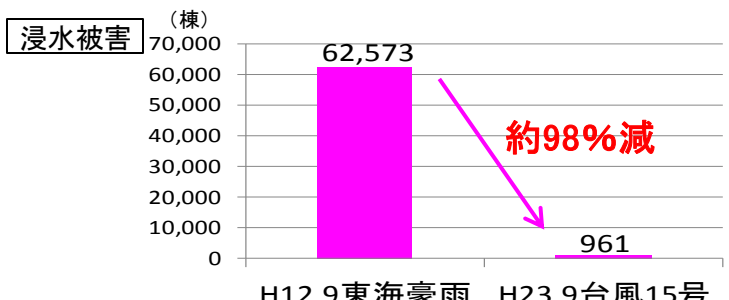
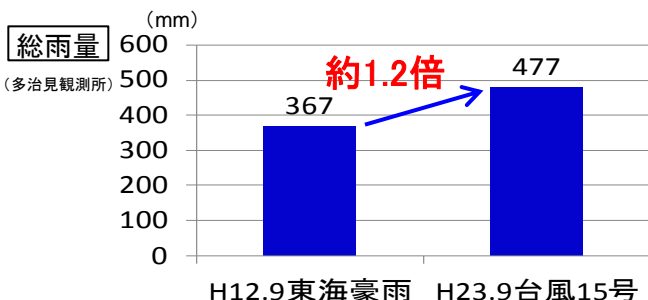
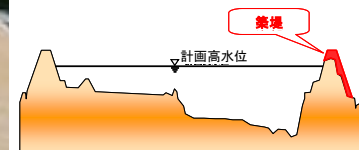
横断面図ポンチ絵



築堤：大治町大字ハツ屋



横断面図ポンチ絵



東日本大震災で河川堤防が果たした役割(阿武隈川) 【堤防は重要な避難場所】

堤防の質的整備

漏水及び浸透対策のため堤防を大きくして強化。

位置図



避難場所
(阿武隈川左岸4km付近)

阿武隈川左岸の寺島地区の堤防に、
地区住民のほぼ全員の60名が最長
3日間避難して難を逃れた。



完成時(被災前)

寺島地区

海からの
津波

阿武隈川
6
無傷



堤防上の自衛隊車両(捜索活動等を実施)

●岩沼市長のコメント

「阿武隈川左岸4km付近の寺島地区(約44戸)の住民は、大津波警報が出た時、近くに高い場所が無いため、阿武隈川の左岸堤防に逃げた。海からの津波と川を遡上してきた津波の挟み撃ちに合い、もうダメかと諦めたが、越水することも、また堤防が崩れることも無く命拾いした。おかげで寺島地区には犠牲者が1人もいない。自衛隊もこの堤防は頑丈だと言っていた。質的整備をしてもらって本当によかった。」



堤防に避難した重機や一般車両

【問い合わせ先】

国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課
〒100-8918 東京都千代田区霞ヶ関2-1-3
TEL 03-5253-8443